

46億年 地球のしごと

企画展

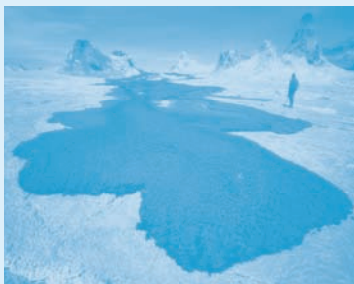
～地質写真家が見た世界の地形～

■ 地球の「履歴書」

地球の年齢は、46億歳です。このとてつもなく長い時間の中で、地球はどんな運命をたどってきたのでしょうか。海や大気をつくり、生命をうみだしました。大きな環境の変化を何度も経験してきました。地球の歴史は、岩石や地層の中に残されています。

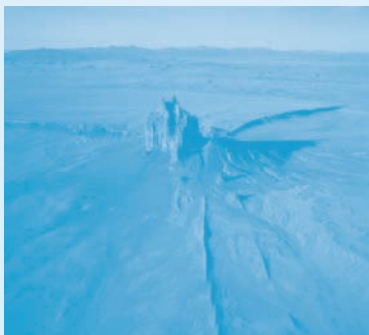


■ 世界のびっくり地形



火のしごと－火山－

火山をつくるマグマの成分や温度、噴火の場所のちがいで、噴火のしかたや火山の形がかわります。



砂と氷のしごと－砂漠や氷河－

砂漠の砂が風で動いてたまったり、氷河が流れて山をけずり谷をつくる時、おもしろい地形ができます。

大地のしごと－断層－

大地が動くことで岩石が割れて、大きな断層ができ、地面がずれます。

ひとのしごと－地下資源－

地球がつくった岩石や鉱物を、ひとは貴重な資源として利用しています。



水と風のしごと－浸食－

雨や風、波などにより、かたい岩石の表面がけずられたり溶けたりして、ふしぎな地形が作りだされます。



宇宙のしごと－クレーター－

宇宙から落ちてきた隕石が衝突して、大きな丸い穴ができます。

世界の各地には、アッ、すごい！と驚いたり、ワー、きれい！と感動したり、ウーン、どうして？と悩んでしまうような地形や地層、岩石がたくさんあります。それらは地球がうまれてから46億年という長い時間の中で、できてきたものです。

今回の企画展では、地質写真家 白尾 元理 (しらお もとまる) 氏が、世界各地で撮影した様々な地質景観の写真と解説に岩石、化石を加えて「46億年の地球のしごと」を紹介します。

白尾 元理 しらお もとまる

1953年東京生まれ。地質写真家・サイエンスライター。大学・大学院で地質学、火山学を専攻。1986年の伊豆大島噴火、1987年のアメリカ西部旅行をきっかけに写真家を志す。以来、世界40カ国以上の火山、地形、地質などを撮影している。

【関連イベント】

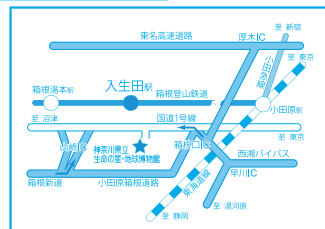
クリスマス サイエンス・トーク 「地球のしごとを撮る」

世界中の地質景観を撮影したときの苦労話や隠れた意外なエピソードを楽しく紹介していただきます。

白尾元理氏・斎藤靖二 (当館館長)
12月20日(土) 13時30分～15時 博物館講義室
当日受付 入場無料

観覧料

| | 企画展 | 常設展 |
|----------|-----|------|
| 65歳以上 | 無料 | 無料 |
| 20歳以上 | | 510円 |
| 20歳未満・学生 | | 300円 |
| 高校生以下 | | 無料 |



■ 開館時間 9:00～16:30 (入館は16:00まで)

■ 交通案内

電車：箱根登山鉄道(小田急線乗り入れ)
入生田駅下車徒歩3分
お車：国道1号線「地球博物館前」
交差点(歩道橋に表示あり)入る

 **神奈川県立 生命の星・地球博物館**
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

問合せ先：生命の星・地球博物館 企画普及課
〒250-0031 小田原市入生田499
電話 0465-21-1515 FAX 0465-23-8846
<http://nh.kanagawa-museum.jp/index.html>